NIKKEI
BUSINESS DAILY

Smart Times

イノベーション・プレイス

インターウォーズ社長
吉井 信隆

1979年リクルート（現リクルートホールディングス）入社。首都圏営業部長など経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

新型コロナパンデミックに直面し、多くの企業は受け身の経営を強いられた。当社も「イントレプレナー塾」の運営方法や、キャリア相談の面談方法の見直しを余儀なくされ、オンラインへと切り替えた。社員の働き方もテレワークへと移行した。

リモートで仕事をするようになり、通勤時間も通勤のストレスも無くなり、ワークスタイルが激変した。オンラインでの会議や面談はどこにいても対応でき、移動時間もかからない。情報共有が容易になり、様々なメリットが生まれた。

一方、雑談など他者とのコミュニケーションからの情報・気づきが得られない、オフィスで直接考えをぶつけ合うことから生まれるイノベーションが起きにくいといった課題も浮き彫りになった。

人はリアルなコミュニケーションでないとウエット感が出ず、脳が回らないのかもしれない。同じ空間で時間を共有し、熱量の高い人たちが集い、価値が生まれる共創の場」とした。企業間の枠を超えて開放的なオフィス空間を共有し、偶発的なコミュニケーションや雑談など、オンライン上では生まれにくい交流を創るため、円形テーブル、ソファシート、カウンター席、スタンディングデスクなどの多彩な席を設置した。まるが、肝心なのは熱量を持った多様な人との語らいだ。それが事業発案の源泉となる。フェイス・ツー・フェイスで心を開放して話し合い、互いの理解が深まり共感が生まれる。共感する人の輪が広がってくると、目的を実現するにはどの企業の誰がキーマンとなるのかが見えてくる。

企業の枠を超えたダイバーシティが、新たな価値を生むことにつながる。出島インキュベーション・プレイスが、イノベーションが起こるプラットフォームになることを期待している。

話し合いから気づきを発見することが多いのではないだろうか。

イノベーションの「元祖」シュンペーターは「イノベーションとは社会に価値をもたらす革新であり、異分野の人と人との新結合が起点だ」と言っている。当社のインキュベーションオフィスを「イノベーションが起こる場」とするため、緊急事態宣言中に全面リニューアルし、新たに「出島インキュベーション・プレイス」としてオープンした。

コンセプトは「異業種の人たちが集い、価値が生まれる共創の場」とした。企業間の枠を超えて開放的なオフィス空間を共有し、偶発的なコミュニケーションや雑談など、オンライン上では生まれにくい交流を創るため、円形テーブル、ソファシート、カウンター席、スタンディングデスクなどの多彩な席を設置した。まった、企画に集中できる1人用の個室やミーティングルームなども導入し、事業案を創出するための環境を整えた。

イノベーションは異分野の人と人が共鳴することから生まれる。それには互いの会社から離れたところで、率直な対話ができる「場」が必要だ。区切りのない曖昧な空間で、たわいもない会話から新鮮な生きた情報が飛び交うことが多い。

新規事業を立ち上げるテクニックはスクールで学べるが、肝心なのは熱量を持った多様な人との語らいだ。それが事業発案の源泉となる。フェイス・ツー・フェイスで心を開放して話し合い、互いの理解が深まり共感が生まれる。共感する人の輪が広がってくると、目的を実現するにはどの企業の誰がキーマンとなるのかが見えてくる。

企業の枠を超えたダイバーシティが、新たな価値を生むことにつながる。出島インキュベーション・プレイスが、イノベーションが起こるプラットフォームになることを期待している。

2021年(令和3年)12月27日(月曜日)